

留学途中経過報告書【1月】

1月:期末テスト、冬休み

→中国での長期休暇。留学生活も前半終了なので少し遠くへ旅行する。四川へ。

⇒冬休みに入ったばかりなので旅行の報告は次回します。今予定しているのは南京とハルビンへの旅行。四川は冬は私の行きたい場所に入れないことが判明したので夏に行きたい。

※前回報告のクリスマス、新暦での年末

…クリスマスは前回でも軽く触れたが、やはりここ 5、6 年で流行り始めたものらしく、若い人の文化らしい。新暦での大晦日から元旦にかけても同じく重要視するのは若い人達で、ちょっとしたイベントという感じである。街の雰囲気もほとんど変わらなかったという印象だ。

① 学校全体の状況

- ・ 留学生競技大会(バドミントン)が 12/11 に終了。
- ・ 留学生バドミントン部も 12/30 で今学期は終了。
- ・ 期末テストが選択科目 12/27～必修科目 1/5～の日程で実施された。
- ・ 留学生のクリスマス会が開催された。各班や個人などで出し物が出されるという形式。今年はほとんどが歌やダンスだった。
- ・ お正月休みは 1 月 1・2 日。そして 3 日の土曜日はそのままお休みだが、4 日日曜日は平日扱いで授業だけでなくお仕事も始まるようだった。
- ・ 終業式が 1/9 に行われ、冬休みに突入。

② 授業・学習状況

- ・ HSK 中級の結果が出た。4 級だった。(点数によって級が決まる。中級は 3～8 級で、8 級が 1 番よい)はつきり言って思わしくないの次回に向けて勉強します。
- ・ 留学生の水準を測るための模擬 HSK の結果も出た。こちらは 6 級。正式な自分の記録にはならないので残念。
- ・ 会話力: “この単語が分かればいいのに” と思うことがやはり多く、また言い回しもパターン化してしまっていると思う。やはり単語力と文法といった机についての勉強が必要だと実感。しかしおせじでも中国語を褒められると嬉しくなってきた。
- ・ 聴解力: 自分ではやはり進歩がよくわからないが、10 月の国慶節前に行った旅行会社に最近行った際、そのスタッフさんは私のことを覚えてくれていたのだが、以前よりスムーズに言っている意味が理解できた気がしたので嬉しかった。
- ・ 文章力: 今月は格段に書くことが不足していたと思う。作文コンテストに参加した人の作文が全て載ったものが配布されたのだが、入賞した人の作文はもちろん、他人が書いた文章を読んでいると刺激になった。表現力がつけたいと思う。

留学途中経過報告書【1月】

③私生活

- ・ 参加させてもらっていた日本語クラスの授業が12/25で終了。
- ・ 宮蘇会(gongsuhui)のクリスマス&忘年会が開催。
- ・ 友人の誕生日で、校内のお店を貸しきってのパーティを開催。
- ・ 現地中国人がおすすめする蘇州園林を案内してもらった。
- ・ 本当に欧米組みが帰ってしまった。帰国前にはクラス意外の友人達も交えてお食事会を開いた。
- ・ 友人がスウェーデン料理を手作りしてごちそうしてくれた。
- ・ 社会人の人達が個人的に週1で蘇州大学の体育館にバドミントンをしに来ているのだが、バドミントン用品のお店で出会ったのをきっかけに、その活動に混ぜてもらえることになった。
- ・ 友人関係に韓国料理のお店を出す人がいるらしく、店頭で流すCMに大勢で参加した。
- ・ 外国語学部のクリスマス会を見に行った。
- ・ 日本語学科中国人卒論のアンケートに協力
- ・ 中国の“都市”と“田舎”の中間のところを、社会人の中国人の方に軽く案内してもらった。

④その他

- ・ 寮3階の南側が水漏れ。まだ解決しておらず水漏れが続いている。
- ・ 寮の各部屋のテレビのケーブル(?)が何かを変えるらしく、軽く工事が始まった。
- ・ 以前の公費留学生の先輩が卒論のために蘇州に来た。アンケートなど少し手伝うことができた。
- ・ ゼミの先輩であり以前の公費留学生でもある先輩が蘇州に遊びに来た。

⑤感想

ついに前期の授業が終わり、冬休みに入った。留学してもうすぐ5ヶ月が経つ。そんな私には、留学を始めた当初、もっと言えば中国と関わってからずっと思ってきたことがある。

それは歴史認識問題のことだ。こちらに来てからずっと、中国はもちろん様々な国々の友人達にとってもよくしてもらっている。さらに校内スーパー、果物屋さん、寮のおばさん達、それから校門警備、留学生学部の鍵管理のおじさん達など、今ではすっかり顔見知りになり、もはや完全に友達だと私は勝手に思っている。そしてその場限りでしかない人達、道行く人達とも話ができたり、小さなことだが助けたりしてくれることもある。本当にここは温かい国だと思う。

だから私はいつも忘れがちなのだ、私達がかつて中国にひどいことをした“日本人”であるということ。しかし留学してある程度の時間が経った今、私はまた日本人であることを考えるようになった。今回の留学で、初めて歴史上の日本人として私に言葉を発したのはあるインドネシア人だった。彼は特別真面目ではないが、インドネシアも被害国なのでこのことは本当によく知っていた。私の出身地が広島なので、自己紹介の流れでこう聞かれた。「日本人は戦争のことアジアに対してどう思っているの？」

留学途中経過報告書【1月】

あなたはと思う？」それからだいぶ後に、彼と、ニュージーランド人、デンマーク人との4人でご飯を食べに行った時にも、何気なくこの話題になった。やはり私が広島出身なので派生しやすいのだろう。広島の知名度に驚いたりもしたのだが、それくらい歴史のことは世界中で重要視されているのかもしれない。その時彼らは私にやはり同じような質問をした。加えて今の広島はまだ戦争の跡は残っているのかとも聞かれた。

しかし私が1番印象を受けたのは校内スーパーのおばさんの言葉だ。ある日の帰り道、スーパーの前を通りかかったところそのおばさんは私を見て声を掛けてくれた。その場にいたバイトのお兄さんとお姉さんも交えて、何となくそこで話し始めたのだが、気づけば冗談交じりの話からだが日本人は悪いという歴史関係の話になっていた。そしてあとの2人も日本人による虐殺、教科書のことなど色々私に聞き、やはり日本人は悪い、何も知らないと納得してしまっていた。しかし突然そのおばさんが私に聞いた。「日本に彼氏はいるの？」なぜいきなりと思い聞いてみると、「あなたに帰ってほしくないから。彼氏がいたら帰っちゃうでしょ。」と言われたのだ。しかし私は疑問に思っただけで冗談交じりに聞いた、「日本人はすきじゃないんでしょ？私も日本人ですよ。」するとおばさんは、言った。「あなたはいい日本人よ、他の日本人とは違う。」

あとの2人とは私は初対面だったのだが、私が正直に答えたことに感心してくれて、このおばさんの言葉に同意してくれた。「いい日本人もいるんだね。初めて会った。」泣きそうになった。おばさんは、この2人の前で私の肩と持つ(?)ことは、日本の味方をするようなことなのに抵抗はなかったのだろうか？それなのに日本人の私のことを「帰らないで」と言ってくれたのだろうか？そしてあの2人も、今会ったばかりなのに、私はこの短時間で特別彼らを助けたりした訳でもないのに、私のことを「いい日本人」と言ってくれたのだ。

そんなこともあって私は南京大虐殺記念館に行くことにした。2年前の短期研修で南京を訪れたことがあったが、その時記念館はニューリアル工事中で入れなかった。広島での小さい時からの平和学習が本当に怖くて、このような記念館などは一生行きたくないと思っていたのだが、決心が付いた。今しかない。むしろ今行くべきだと思った。

人のことを知るにはまず自分を知らなければならない、それと同じで外国のことを知るためには自国を知ること大切だ。そうして見えてきた二国の関係が、私の人間関係によい方向に影響することを願っている。見たくない部分を見ることは勇気がいる。しかし見たくないところにこそ大切なことがあるのかもしれない。

留学報告 【1月】

20610207 山口亜砂子

1月の計画

- ・ 前期の学習を振り返り、不明瞭な点、苦手な点を残さないようにする
- ・ 中国での春節を経験する

1. 学習成果

- ・ HSK（漢語水平考試）結果

11月に行われたHSKの結果が発表された。今回は中級レベルC級の6級を取得することが出来た。設問別に見ると、リスニング力が弱いことが分かった。今回の反省を活かし、次回は更に上の級を取得できるよう努力する。

- ・ 前期授業を振り返って

必修のクラスでは一番前の席に座っていたこともあり、発言回数は多かったと思う。この点は来学期も続けていきたい。

また、今学期の学生表彰において、「表彰生」の賞をもらうことができた。来学期も賞を頂けるように、勉学に励みたいと思う。

反省点は、学期後半の予習・復習が不完全だった点である。このため、中間テストに比べ期末テストの準備が大変だった。テスト前に慌てて詰め込まずにすむように、毎日少しずつ復習をするよう心がけたい。

- ・ 来月の課題

- ・ 文法書や前期のテキストを活用し、休暇中も学習を怠らない
- ・ クラス分けテストに向けて準備をする

2. 生活状況

- ・ 春節について

日本では旧正月の位置づけだが、中国では春節が年越しとなる。日本では、12月に入った頃から、徐々に年越しの雰囲気が出始めるが、私が感じた限り中国でこの雰囲気が出始めるのはクリスマスが終わってからのようである。

だが、西暦の1月1日に何もしない訳ではない。12時を回ると、花火が上がる音があちこちから聞こえてきた。また、テレビではカウントダウンを行ったり、各地の除夜の鐘の中継をしたりしていた。中でも蘇州にある古刹・寒山寺は日本人になじみのある寺であり、中継先の境内では日本語のアナウンスが流れていた。

春節はまだ迎えていないので、春節を迎えた様子については 2 月のレポートで詳しく述べたい。

- ・ 冬期休暇の計画について

1 月は蘇州市内・近郊の名所を回る予定である。既にいくつかの園林に足を運んだ。池に氷の張った冬ならではの風景を見ることが出来た。名所を見て回る一方で、春節に向けての蘇州の街の様子も、しっかり観察していきたい。

- ・ 来月の課題

- ・ 春節を迎えた様子を観察する
- ・ 短期研修生のサポートを行う